

3月

カトリック麹町教会

# MAGIS

マジス = 「より、もっと、さらに」

教会テーマ

イエスがたたく希望の扉をひらいていこう 新たにつながるために 2030年に向けて一歩ずつ

## 地震と戦争

協力司祭 ハビエル・ガラルダ



トルコとウクライナの写  
真は、自然の恐ろしさと人  
間の悪意を示します。  
選べない自然には悪意が  
ないけれども、自由な人間  
による死と破壊はまったく  
の悪意を物語るのです。  
戦争は愚かな不条理で  
す。戦争と不平等な貧困  
は、人類の最も酷い罪です。  
各国は、貧しい国々への支援  
を避けて、国民のサラリー  
を上げないで、莫大な金額  
を使つてきわめて強力な武  
器を集めます。

昔の王様たちは一番先頭  
で戦っていました。現代、戦  
争の責任者は若者を殺し合  
いに送って、立派な部屋で偉  
そうなることを言っています。  
その方々にこそ戦場に出る  
義務があれば、戦争はうん  
と少なくなるでしょう。法  
務大臣も、立派なデスクに  
座つて判子を押してから、  
自分自身の手で死刑の執行  
をする義務があれば、現状  
は変わるかもしれませぬ。  
戦争や諸問題の本当の解  
決は、力ではなく話し合い  
と譲り合いです。数か月前  
に教皇フランシスコが言わ  
れた通り、世界には本当の  
権限のある公平な場は必要  
です。このような問題が話  
し合つて決められる場は必  
要です。

ところが、残念ながら、今  
の状況ではその場  
がユートピアに過  
ぎないようです。  
その原因は、罪の  
根源であるエゴイ  
ズムと高慢です。  
すべてを自分のも  
のにしたいエゴイ  
ストは、話し合つて  
譲り合うという方


法を断ります。また、話し  
合いが「勝った」という勝利  
感に欠けて人間の高慢を満  
たさないのので、拒否されま  
す。  
つまり、エゴと高慢は話し  
合いを妨げるわけです。キ  
リストの弟子である私たち  
は、今から、この解決の実現  
のために祈りながら、自分  
なりに働きかけるのが良い。  
そして、日常生活の家庭、仲  
間、仕事などの諸問題を、話  
し合いをもつて解決してみ  
るのが良いでしょう。  
しかし、本当の話し合いに  
は守りにくい条件がありま  
す。一つ目は、両側は自分  
の意見を絶対的な真理にし  
ないという条件です。二つ  
目は、絶対性を抜いた生の  
意見を出して、協力的に真  
ん中に隠れている真理を探  
求するという条件です。  
それを邪魔するエゴと高  
慢を完全になくすことはで  
きませんけれども、その反  
対行動をとることはできま  
す。  
高慢の反対行動は、感謝  
から生まれる謙遜です。  
エゴイズムの反対行動は、  
人に助けを惜しまないとい  
う愛です。人が助かるため

**教会報 MAGIS 3月号**

- † 新年祝賀会 2023  
～わたしたちの希望～ P2
- † 3年ぶり！日曜学校のお餅つき P3
- † **Family of St. Ignatius**  
～ベトナム語圏から～ P4
- † 教会活動グループ便り ① P5
- † 新連載 光をつないで ③ P6

**トルコ南東部地震救援募金のお願い**

菊地功東京大司教から、「被災された方々に祈りを通して寄り添い、復興の道のりを支えて参りましょう」とのメッセージと共に、カリタスジャパンを通じた募金が呼び掛けられています。  
郵便振替：00170-5-95979  
加入者名：宗教学法人カトリック中央協議会 カリタスジャパン  
\*記入欄に「トルコ地震」と明記してください。  
\*ウクライナ支援の募金も受け付けています(記入欄に「ウクライナ危機支援」と明記)。  
詳しくはカリタスジャパンのウェブサイト  
(<http://www.caritas.jp/donate/>)を参照。



に人に仕えるという姿勢で  
生きることで。つまり、  
「愛し合う」ということで